

1 教科の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 (知識及び技能)
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (思考力・判断力・表現力等)
- (3) 主体的に美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 一年間の学習の流れを理解する ・身近なものを描こう 自分らしさを引き出す構想の練り方、構図の工夫、色彩のもつ感情と効果 ・風景画 遠近法 ・パッケージデザイン レタリングの技法 着色や構図の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学習の流れを理解する。 学習意欲を喚起する。 ・対象から感じ取ったよさや美しさから発想し、身近なものから創造的な構成を工夫し、心豊かに表現することができるようにする。 ・スケッチや水彩表現の基礎的技能、用具などの基礎的な知識と活用する力を身につけさせる。 ・遠近法を理解し、身近な風景を描く。 ・構想したイメージを魅力的に伝えることを考えさせ、技法を生かし、工夫した作品制作ができるようにする。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・人の立体 ・世界の美術鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造を理解し、躍動感のある動きをイメージし、表現できるようにする ・美術作品を鑑賞し美意識や美的判断力を育む。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・螺鈿蒔絵風ボックス カッターナイフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・螺鈿や日本の伝統文様のよさを味わい、現代の生活に取り入れた構想・発想を練ることができるようにする。 ・材料や用具などが安全で効果的な活用ができるようにする。

3 評価の観点、資料、方法

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	授業内の発言・様子、ワークシート、実習での技能制作品、作品カード
思考・判断・表現	授業内の発言・様子、ワークシート、制作品、作品カード

主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ワークシート、振り返りカード、制作物を総合的に絡めて評価
---------------	-----------------------------------